

平成27年度 自己評価実践報告書

学校名 福島県立福島東高等学校

I 自己評価の概要

1 『学校評価・経営ビジョンについて』

資料1 「平成27年度 福島県立福島東高等学校 学校経営・運営ビジョン」参照

2 校内組織体制について

学校評価委員会（校長，教頭，教務主任，生徒指導主事，進路指導主事，教務の係）を組織し，学校評議員の意見等を受けながら自己評価を実施する。

3 自己評価年間計画について

資料2 「平成27年度 学校評価年間計画」参照

II 評価結果の概要

1 実施時期，実施方法

評価者		年度末評価	
		実施時期	実施方法
教職員		27.12.9～12.11 ～28.12.11	アンケート 年度末反省
教職員 以外	生徒	27.12.1～12.11	アンケート
	保護者	27.12.1～12.11	同上
	学校評議員	27.12.1～12.25	同上

(1) 年度末評価

教職員・生徒・保護者・学校評議員に対してアンケートを実施し，集計結果と解説を冊子にまとめ，公表した。

(資料3 「学校経営・運営ビジョンに対する学校評価」参照)

(2) 年度末反省

さらに教職員は，各部・学年・教科において年度末反省を行い，結果を冊子にまとめて全職員で共有した。

(資料4 「部・学年・教科の反省」参照)

2 アンケート及び回答数

評価者		年度末評価アンケート		
		対象数	回答数	割合
教職員		50名	42名	84.0%
教職員 以外	生徒	840名	795名	94.6%
	保護者	840名	746名	88.8%
	学校評議員	4名	4名	100.0%

(1) 教職員

職員会議で配付し説明した。回答率は84.0%だった。

(2) 生徒

回答率は94.0%であった。

(3) 保護者

回答率は88.8%であった。

(4) 学校評議員

4人全員から回答があった。

### 3 評価基準について

評価	1	2	3	4
評価基準	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない

- 教員，生徒には上記の評価基準で回答させた。
- 保護者，学校評議員の場合は，さらに「5 わからない」を設定した。

### 4 年度末評価のまとめ

以下特徴的な部分を記す。詳細は資料3「学校経営・運営ビジョンに対する学校評価」参照。

#### (1) 教職員

「いじめ防止の取り組みに関しては、「そう思う」と「ややそう思う」という肯定的な回答の割合が教職員90.3%に対して生徒58.8%であった。昨年度は、教職員69.9%で生徒は59.3%であり、生徒と教職員との間に温度差があるように思われる。いじめの有無のアンケートだけでなく、実効性のある取り組みについて検討していかなければならない。

いることがうかがえる。

#### (2) 生徒

「本校に入学してよかった」と答えている生徒は、「ややそう思う」を合わせて85.4%である。

「部活動と学習の関係」については、②「部活動は忙しいが自分が甘いため学習時間が足りない」と③「学習時間が少ないのは部活動とは関係ない」を合わせた割合が78.6%となっており、一人一人が家庭学習時間の確保を図ることが学力向上においては何よりも重要なので、「文武両道」を実践させながらこの学習習慣を確立させるよう今まで以上に取り組む必要がある。

#### (3) 保護者

「そう思う」と答えた保護者の割合は前年と比較して全体的には大きな変化はなく、本校の指導に対しては肯定的な評価を多数いただいている。特に「子どもを入学させてよかった」と感じている保護者は、「そう思う」68.6%、「ややそう思う」を合わせて93.8%となり、昨年度よりも約2%上昇している。

一方、「本校のホームページを見たことがありますか」という設問に対しては、月1回以上が11.0%で生徒の3.4%よりは高いが、見たことがある割合は保護者が69.9%、生徒が77.2%であり、保護者は昨年度より25.1%、生徒は15.9%下がっている。HPをPRするとともに、さらによりよい情報発信に努めたい。

#### (4) 学校評議員

おおむね肯定的な回答をいただいた。内容は評価書に反映させていただく。

## III 広報の概要

### 1 各種通信の配布対象，配布時期，配布方法等

各種通信名	配布対象	配布時期	配布方法
学校通信	生徒・保護者	毎月始め	手渡し
「東高通信」	全教職員	毎月始め	手渡し
学校新聞	同上	3月	手渡し
P T A新聞	同上	4月，12月	手渡し
学年・学級通信	生徒・保護者	不定期刊行	手渡し
学校案内	中学生	学校説明会	手渡し
学校ホームページ	不特定多数	1ヶ月1回以上更新	インターネット

### 2 実施状況

4月○職員会議で「平成27年度学校経営・運営ビジョン」を教職員に提示。

○P T A総会で「平成27年度学校経営・運営ビジョン」及び「平成26年

度年度末評価のまとめ」を保護者に説明。

○本校のホームページに「平成27年度学校経営・運営ビジョン」掲載。

6月○第1回学校評議員会で「平成27年度学校経営・運営ビジョン」を学校評議員に説明。

7月○体験入学を2日間同一日程で実施。参加した中学生のべ980名。

○中学校における説明会をのべ34校で実施。

11月○「ふくしま教育週間」にあわせて、授業・部活動公開を実施。

2月○職員会議で学校評価アンケート結果を説明。

○第3回学校評議員会で学校評価アンケート結果を説明。

3月○本校のホームページに「平成27年度学校評価」を掲載。

#### IV 次年度へ向けて

##### 1 評価結果の特徴、自己評価実践の成果等

教育方針の実現に向けて「学校経営・運営ビジョン」を公表し、その準備・実践過程・成果等を適切に評価することにより、より良い教育活動の改善・充実に資するために学校評価を行っている。

また、生徒・保護者からのアンケートを経年比較し、本校の教育活動が適切に行われているかどうかを評価・判断する大きな材料にしている。

一方、生徒・保護者・教員のそれぞれの意識の変化に的確に対応しながら本校の教育目標を達成できるよう、教職員全員で魅力ある学校づくりに取り組みたい。

##### 2 自己評価全体の次年度の取組みについて

ビジョンの策定、学校評価の年間計画の立案・実施・評価の実施過程において、教員の共通理解のもと、一致団結して本校の教育目標を達成できたかどうかを検証できるよう工夫・改善に努めたい。また、アンケートの設問の文言についても工夫したい。

##### 3 次年度に向けての課題、改善点、重点事項、展望など

- (1) 評価委員会における活動を促進し、さらに適切な自己評価となるよう工夫する。
- (2) 開かれた学校づくりのために、保護者・地域に向けた「わかりやすい情報の発信」をさらに心がける。また、今年度一新したホームページを通して、本校の教育活動の様子をタイムリーに情報発信することで、地域との交流が図れるようさらに取り組みたい。
- (3) 突発的な出来事に適切な情報を提供できるよう、保護者に対するメール配信を今年度からスタートした。
- (4) 生徒・保護者へのアンケートの質問内容に抽象的な表現があり、回答しにくいのではないかという指摘をいただいている。本校の教育活動をよりの確に評価できる表現を工夫する。
- (5) 今年度の学校評価について、学校評価委員会や職員会議を通して十分に分析や検討を行い、次年度の改善に向けた対策を講じる。

##### 4 終わりに

今後も校長のリーダーシップのもと、教職員一丸となって生徒の自己実現・地域社会への貢献ができるよう、さらなる教育活動の充実に努めていきたい。